

令和4年第8回定例会議

教育委員会会議録

令和4年10月21日

羽島郡二町教育委員会

令和4年第8回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

※当議事録では、個人情報に関する記述について、本人が特定される恐れがあるため省略している部分があります。

○日 時 令和4年10月21日（金曜日）午前9時57分から午前11時39分まで

○場 所 岐南町中央公民館 講義室

○会期の決定について

△日程第1 前回の会議録の承認について

△日程第2 教育長の報告 【資料1】

○議 題

△日程第3 議案第40号 令和3年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について

【資料2】

○協 議 題

△日程第4

- (1) 令和4年度前期ボランティア表彰について
- (2) キッズウィークの取組状況について
- (3) 第64回羽島郡駅伝競走大会（12/11）について
- (4) 第74回羽島郡PTAセッション2022について
- (5) 第51回羽島郡二町教育委員会表彰式の開催について
- (6) 岐阜県市町村教育委員会研究総会（11/11開催）について
- (7) その他

・次回（第9回）教育委員会定例会の開催について

【日 時】11月25日（金） 13時30分

【場 所】岐南町中央公民館 集会室1

○出席者	教育長	野原弘康
	教育委員（教育長職務代理者）	西 雅代
	教育委員	岩井弘榮
	教育委員	久納万里子
	教育委員	羽田野正史

○説明のために出席した者

総務課長	石川 恵
学校教育課長	五藤 政志
社会教育課長	堀内 潤一

1 本日の書記

総務課長

石川 恵

【午前9時57分 開会】

△開会

教育長挨拶

◎教育長 おはようございます。只今より令和4年第8回羽島郡二町教育委員会定例会を始めさせていただきます。

△会期の決定について

◎教育長 初めに会期の決定についてお諮りします。議事日程により、会期については本日1日とすることとしてよろしいでしょうか。

【異議なし】

◎教育長 ありがとうございます。
異議なしと認め、会期は1日とさせていただきます。

△日程第1 前回の会議録の承認について

◎教育長 それでは、はじめに日程第1 前回の会議録について、総務課長より報告をさせていただきます。

◎総務課長 では、よろしくお願いたします。

前回の会議録の承認についてご報告いたします。資料2頁をご覧ください。

令和4年第7回羽島郡二町教育委員会定例会議は、令和4年9月28日(水)午前10時35分より北小学校2階木のへやで開催されました。その会議の概要を報告します。

議題といたしまして、議案第37号 羽島郡二町教育支援委員会規則の一部を改正する規則については、議案書に基づき、総務課長より、根拠法令の改正及び通知を受け、現行の組織構成との整合性を図る為、内容を整理し「適正就学」を「教育支援」とし、「判断及び指導」を「検討及び判断」とするなど、文言の改正を行うことの説明をさせていただきます、承認していただきました。

議案第38号 令和4年度羽島郡二町教育委員会 教育指針「方針と重点」(前期中間評価)については、議案書に基づき、学校教育課長が各学校から提出された評価について報告を行い、7月末時点での成果や課題について説明をさせていただきます、承認していただきました。

議案第39号 令和5年度使用小・中学校用教科用図書の岐阜地区採択については、議案書に基づき、学校教育課長より岐阜地区教科用図書採択協議会の採択結果について、手続きが完了したことを報告させていただきます。

続きまして、協議題についてですが、(1) 令和4年度第51回羽島郡二町教育委

員会被表彰者については、総務課長が「令和4年度 第51回 羽島郡二町教育委員会被表彰者の選考」により、教員2名、社会教育関係者1名、計3名の表彰推薦があったことを報告させていただき、承認していただきました。

(2) 羽島郡二町「立志塾」日帰り研修については、学校教育課長が、別綴じ資料により日帰り研修及び第3回研修について説明させていただき、教育委員の方々の参加についても確認させていただきました。

(3) 夏休みこども教室の参加状況については、社会教育課長が「令和4年度夏休み子ども向け講座」により、実施状況の報告をさせていただきました。

(4) 郡グループコーディネーター研修会のまとめについても、社会教育課長が「学校及びグループコーディネーター研修会のまとめ」につきまして、簡単に研修会内容の報告をさせていただきました。

(5) キッズウィーク（行事予定）についても、社会教育課長が資料令和4年度「羽島郡二町キッズウィーク」の実施についての資料に基づき、期間中の行事について、また、別刷りの「ふれあいまなびすと」及び「秋の親子教室」のチラシについて説明を行いました。

(6) 羽島郡二町拡大立志塾「キャリア教育講演会」についても、社会教育課長が、丸杉バドミントンチームの監督を講師として招き、「キャリア教育講演会」を12月3日（土）に拡大立志塾として開催することをご案内させていただきました。

(7) その他としまして、教育委員県外視察の実施については、総務課長より、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、県外視察を2年間中止したこと、参考として過去の実施内容について説明し、今年度の実施についてお諮りしました。学校教育課長から秋に実施される視察候補についても説明をさせていただき、協議していただいた結果、宿泊は自粛の方がよいと思うので日帰りで視察を計画すること、ただ、11月の視察は日程的に難しいということで、年内は見送り、年明けに視察に行くことについて、また後日改めて検討をすることを確認させていただきました。

次回（第8回）教育委員会定例会の開催については、総務課長より令和4年10月21日（金）午前に岐南町中央公民館で定例会を開催することを確認し、案内をお渡ししました。また、同日午後には第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会も開催される旨、案内済であることを確認させていただきました。

第9回教育委員会定例会の開催についても、総務課長より、第9回定例会は同日に教育委員会表彰式を行う日程とすることを説明させていただき、11月22日（火）もしくは、11月25日（金）午後には岐南町中央公民館で開催する方向で調整することにさせていただきました。

以上が、令和4年第7回教育委員会定例会議の報告でございます。

◎教育長 はい、では以上の会議録につきましても、なにかご意見等よろしいでしょうか？

【異議なし】

◎教育長 はい。ありがとうございます。

【前回の会議録については承認】

△日程第2 教育長の報告

◎教育長

それでは次に、教育長の報告ということで、今日資料は1枚です。

はじめに、高山研修、あるいは帰ってきてからの子ども達の振り返りにおいて、教育委員さんの皆様からご指導いただきました。ありがとうございました。そのことについても、後ほど触れていきたいと思っています。

10月17日から後期がスタートいたしました。例年よりも1週間遅いスタートなのですが、二日目に学校訪問がございました。

————— 個人情報に関する内容の為 省略 —————

昨年度8校を訪問しましたが、1校にはかなり厳しいことを言ってきました。職員には後味が悪いものであったかなあと感じたのですが、生徒の主体性を目指していくことは当然いいことなのですが、その主体性を育むということに対して、どう育むかという手立てが打たれていない中で、子どもが勝手にやるという印象を受けていて、一人ひとりの子どもを見た時に、粗雑さとか目的意識のなさであるとか、そういうものを感じたのです。前々から感じてはいたのですが、訪問で子どもの姿を見た時にそれを感じました。もうひとつは、先生方と子ども達との距離感といいますか、本当に心を開いて子ども達が先生に話ができるか、子ども達の声を受け止めようとしているのかとか、目には見えない高圧的な距離感を感じていて、生徒同士の関わりの中でも、冷たさというか、自分がということアピールしている子が多いような気がしました。リーダー層はそれなりに提案をして、学校をよくしようと思って動いていたと思いますが、フォロワーの意識がそこまで育っていなかったような気がしていました。

それで、哲学者で教育者でもられる森信三先生の話をしていただきました。今の時代に合っているかはわかりませんが、私は不易の部分はいっぱいあると思っています。大きく六点ありまして、これを総括すると中学校で勤務できる幸せを感じてくれということです。私自身も小学校より中学校の方が勤務が長く、大変だけど最後に返ってくるものが忘れられないです。そうした幸せを感じてほしいということで、先生方には投げかけました。

ひとつひとつ具体的に話したわけではありませんが、ひとつには先生方自らが主体的に生きる、一生懸命生きているんだということを見せていく、姿で語るということ。中学校の教員は教科担任制なので、教師がよほどしっかりしていないと影響力が全くない、何のためにそこにいるのかわからないということになるということ。あるいは学級担任としてということ。私も教科指導は勉強しましたがどちらかという学級づくりの方にはるかに時間を割いていたと思います。後から知ったのですが、森先生曰く、6、7割を生徒指導、その他を教科指導に充てる、そのくらいやらないとバランスが取れないとおっしゃっています。小学校の担任と中学校の担任では、やはり人間として生きるというか、その点の気遣い、そうしたものが必要となってくるということ。それから、何でも子ども達に打ち明けてもらうためには、先生達の温かさが無い限り絶対無理であること、あとは集団づくりですね。個に応じた指導は大切なのですが、これだけの人数がいる以上、集団づくりを通して一人ひとりが育てていくんだということ。これは、変えてはいけない、変わらない部分だと思っています、中学校の先生方全体の前で少し厳しい話をしました。それから1年たって、10月18日に訪問をしましたが違いました。学校全体の落ち着きは感じましたし、今は課題に向かっている子がひとりもいない、そんな学級の空気感があったということ、そしてまた、

自然な反応があるし、挨拶もきちんとして、躰の挨拶ではなく、挨拶をするとお互いに気持ちがいいんだということを、心を開いてそのあたりの値打ちを感じず挨拶であるし、廊下などもピカピカになっていますね。

————— 個人情報に関する内容の為 省略 —————

先生方の指導についても、適したポイントのところ指導していらっしゃると思いますし、生徒との距離感も近くなっていると思います。一事が万事ではありませんが、交通事故の減少にも表れているのかなあということを思いました。

昨年度からの好転ということで、そういう子ども達になっているということについて嬉しく思いましたので、この場をお借りしてお話しさせていただきました。

裏の頁へいきます。キッズウィークです。堀内課長にいち早くデータをまとめてもらい、その中から抜粋したものです。もっと詳しいデータがあるのですが、ここでは要約させていただいています。まず、キッズウィークについては、地域の方々に子ども達の学ぶ場をよく作っていただいたと思っています。笠松町は以前からそうした伝統的な部分がありますが、たとえば岐南町の社会福祉協議会も鷹匠から学ぶ機会を作ってもらったり、盲導犬のことも機会を作っていただいたりと、地域の方が子どもの方を向いてくださっているというところが非常に嬉しいし、ありがたいと思っています。そうした反響の中で、今年は旅行に行かれた方も結構いらっしゃるのではないかと思います。そのことも含めながら、アンケートを取りました。

今はフォームというのがあって、スマホで入力したり、子ども達はタブレットを活用する、だからこれだけ早く集計データが出ているのですが、回答率から見ると子ども達の方は、小学校92.7%、中学校が72.6%、全体で81.3%。保護者の方が、小学校75.8%、中学校が61.3%、全体で70.6%ということです。母集団が違うので去年と比較していいかどうかはわかりませんが、去年は小学校の6年生と中2を対象とした児童生徒と保護者でしたので。今年は小3から中3までの児童生徒と、すべての保護者を対象としてアンケートを行ったということです。この3つの質問と、具体的な記述の部分がありますが、記述の部分はまだ整理されておきませんので、数字的なデータで言うところのこの結果でした。詳しく分析はできていないのですが、昨年度からの比較を見た時に、子どもの方は大きな変化が見られませんが、保護者の方には若干変化が見られるかなと思いますし、伸びもあると思います。ただ、いちばん気になったのは、問3の充実していたかというところで、児童生徒の10%、保護者で言う23%になるのですが、そのところで充実していなかったという数字の要因と言いますか、理由ですね。そこをまず掴みたいなあと思っていて、例えば、放課後児童クラブもこの4日間開設してもらいましたけれども4日間とも放課後児童クラブに行ったという子もいるんだろうなあと思っています。ここはまだ調査中なのですが。保護者の理由としては、お休みが取れなかったという理由もあるのだろうと思います。こちらとしても、近隣の市町に合わせた休みで設定して、職場の上司の方にもご理解いただいて休みがとりやすいような環境をできるだけ作り、その中でキッズウィークを進めていきたいということで1週間ずらしたわけですが、結果的にはこういう結果だったということです。

継続していく以上、そういう子達も存在していくであろうと言った時に、例えば学校運営協議会とか地域のボランティアによる放課後こども教室のような場というのを、平日4日間のうち1日でも2日でも設定することによって、親さんは関われないかも

しれないが、その子ども達にも充実感を与えられるような場ができるのではないかと考えています。詳しい分析はこれからしていきたいと思っています。まず、数値だけ報告させていただきました。

3点目、立志塾の方ではお世話になり、本当にありがとうございました。

全部の子ども達の振り返りを読ませてもらいました。やはり、六角さんの話が中心になりますが、いろいろな観点から、いくつかの大事なことのお話をいただきまして、子ども達は、ここに書いた大きな5つの観点で自分の大事にしたいこととして捉えていました。地域のことをもっと知ること、そして、良さを見つけること。それは学校も同じであるということ。それから、課題を解決することも大事だが、まずは良いところをきちんと認識すること。また、課題解決に向けては、発想力・企画力を大事にすること。リーダーとしてこの言葉は結構多くありました。差別はしないが区別はする、これは相手理解ということにつながっていくかと思います。いろいろな意見をきってしまうのではなく、きちんと聞き入れていきたいということも書いてありました。

あとは、好きなこと、得意なことをする時には、リーダーとしてではなくサポート役として支えていきたいということ、子ども達は自分の言葉で書いていました。

これがその子にとっての自己決定というか、意識する目標化なのかなと思いました。

岩井委員さんの言葉ではないですが、自分でどう動くかというところがいちばん大事であり、動くことによって結果として成果があった、なかったということに関わらず、学んだ言葉の意味や値打ちを実感として掴み取っていけるだろうと思います。

また、教育委員会としてもサポートの在り方として、見通しを持ちながら子ども達と関わっていく予定ですが、時には模索する必要もあるだろうと思っています。早速Teamsでグループを組んで、いつでも交流ができる体制をとったり、あるいは学校に連絡をして担任や担当の先生に対して、この子はこんなことを言っていますとお知らせして、学校での活動と教育委員会でのサポートも含めながら、結果はわかりませんが、何かしらやれたな、自分なりに動いたなという事実を作らせていきたいと思っています。

今回は、この3点についてお話をさせていただきました。何か、ご感想・ご意見がありましたらお願いいたします。

◎岩井委員 後ほどキッズウィークのことは議題としてあるようですが、ぜひともこれは分析を進めてほしいと思います。お手数ですが、学校でもいろいろな問題が出てくるような気がします。キッズウィークは、地域を巻き込んでいろいろなプログラムを提供してというのは、本来のねらいではないんです。きっと。いちばんは家庭で子どもとの触れ合いがあって、それで充実した期間が過ごせばいちばんいいわけなんです。どうしてもドロップアウトしてしまうから、受け皿としていろいろなことを用意しなければならない。そういうことも含めて、その結果を見ながら来年度どうしていくかというのを考えてもいいかなあとと思いますので、お手数ですが、堀内課長さんよろしくお願いします。

◎教育長 はい。一人ひとりの意見も大切にしながら、背景にある思いも汲み取りながら進めていきたいと思っています。では、久納委員さん。

◎久納委員 キッズウィークについては、笠松で用意されたプログラムを少し見学してきましたが、岐阜工業高校の子達がすごくいいなあと感じました。教育的内容で興味を持てる内容で良かったです。その一方で、私の知っている子が4日間とも学童保育に行つて

いたのですが、お母さんにどうして仕事を休めなかったのか投げかけてみたら、その子のケースでは、お母さんが自営で働いてみえて、—— 個人情報に関する内容の為省略 —— 「高校は休みじゃないから休めない」と言われました。確かにそうだなあと思いました。放課後児童クラブに預けないといけないというのわかりますよね。

◎教育長 なるほど。

◎久納委員 お勤めの人なら休めるかもしれないけれど、自営の内容によっては相手のあることなので休めないんだなあということを思いました。一人の子の理由はそういうことでした。

◎教育長 わかりました。4日間とも放課後児童クラブを利用したということですね。

◎久納委員 それから、立志塾の研修会お疲れさまでした。

◎教育長 ありがとうございます。

◎久納委員 例年3泊4日ですごく盛りだくさんの内容で1日のうちにふた山か3つの山くらい大きなイベントがあって、合計すると10個以上の感動が押し寄せてくるのですが、今回は日帰りだったので山という点では少なかったと思うのですが、それが逆に、皆が六角さんの話にすごく集中できたと思います。今までは1日目にあっただけで最後の頃にはフェードアウトしてしまっているところもあったのですが、今回すごく皆の心にきちんと残る形で落とし込めたので、これはこれで良かったと思います。

ただ、仕方がないことだとは思いますが、2日後の研修会に出た時に、日程の少ない中でいろいろとまとめなければいけなかったので、先生が「5分間自分の意見を書いて5分後にもう一度話し合いをしましょう」と言われ、各所について先生が時間配分をしてやっていらっしゃいましたが、本来は、「あなたたちがリーダーシップをとっていかなければいけない子なのだから、自分達で時間配分を決めて、誰かが手を挙げてグループの中でリーダーと書記を決めて、自分たちで考えてやっていきなさい」というように持っていけると、目標を決め、課題解決をすることに対する子ども達のリーダーシップも養われたのではないかなあと思いました。でも、時間的に難しいのかなあと思いながら、いろいろと企画して下さった先生達は上手に指導してみえましたし、本当にご苦労様でした。ただ、あまり上手すぎると、生徒たちがそれに流されてついて行けばいいという気持ちになってしまうのではないかなあと思いました。以上です。

◎教育長 はい。ありがとうございます。教員の悪いところですね。ただ、限られた時間でしたから。本当は家で書いてきて、そこで交流するというか、それも塾生としてひとつのやり方かなあということは思いました。

◎岩井委員 まあ、明らかに3泊4日とは明らかにやり方が違うし、毎回セッションが少ない中で研修ですから、どうしてもああいう形にならざるを得ないかなあとは思いますが、でも、もう少し生徒達のうち誰かが自主的にできるような時間があつた方が良かったのかなあということは思います。前回で言うと、先生方はあまり関与せずにグループごとに自主的に進めて活動してきたというのを、私も立志塾の時に経験したものですから、それとの落差はあるなあと感じました。現状を見るとああいう形で先生方がリードしないととてもまとまっていけないというのは、限られた時間ですから十分わかるのですが、本来のねらいからすると、もう少し子ども達のうちでリーダーシップを誰かがとって、しっかりと身につけていくことを得られると良かったのかなあということは思います。

◎教育長 はい、ありがとうございます。このことに関わっても結構ですし、その他のことでも

結構ですが、羽田野委員さんいかがですか？

◎羽田野委員 話し合いの状況を見ていまして、中学生は自分達で進めているような気もしましたが、小学生はグループというか、先生と2、3人で話している感じで、あらかじめそういうルールで進めているのかなあと見ていたのですが、小学生でもそれなりにグループを作って話し合いをしているなあという気はしました。事前に打ち合わせをしているのかと思っていました。中学生のグループと小学生のグループとの違いもありますし、時間は限られていますが、しっかり自分達で進めていると思いました。

◎教育長 はい、ありがとうございます。よろしかったでしょうか？

◎羽田野委員 はい。

◎教育長 では、西委員さん。

◎西委員 キッズウィークのことで、結構私の周りでは、皆家族で旅行に行っていた子が多くて、コロナ禍でこれまで行けなかったこともありますし、世の中が緩くなったこともありますし、ちょうど旅行支援も始まりましたから。やっぱり、できなかった時に行けなかったということを味わっているだけに、我が家もそうですが、子どもも大きくなってしまいうし、この機会しか行けないと思ったのですが、自分達もキッズウィークに関しては、長い旅行に行けるなあというくらいで特に思い入れはなかったのですが、今回はこの休みをすごく大事にしようと思って、家族と関わろうと心がけました。娘も立志塾に参加していたということがあって、結構充実していました。

立志塾に参加していた男の子たちに「どこかへ行った？」と聞いたら、毎日部活と話していて、キッズウィークだけ結局部活で終わってしまうんだなあと思いました。部活にもよりますし、先ほど言われていた家庭環境もありますし、キッズウィークの前にたくさんチラシも見たのですが、結局それも送迎とかが必要でお休みがない方は難しいかなあと感じていました。私の周りでは部活がある子以外は皆充実していたようでした。

立志塾の前回のことはわかりませんが、1日ですごい経験をさせてもらったなあと思っていたので、3泊4日もあったならどういう内容だったのかなあという興味は持ちながら、岩井委員さん達のお話を聞いていました。娘はやはり、六角さんのお話が心に残っていて、お話の中でどこが印象に残っているかと聞いたら、得意とすることにはリーダーとしてではなくサポート役としてということで、そういう考え方があるんだということを知って、娘はその言葉が入ってきたということを知っていました。リーダーの子達に向けてはすごくいいお話だったと思いました。

————— 個人情報に関する内容の為 省略 —————

◎教育長 はい。貴重なご意見ありがとうございました。今いただいた意見も含めて、これから分析をし、方向性を出していきたいと思っておりますので、またよろしく申し上げます。他にはよろしかったですか？

【特に、意見なし】

◎教育長 ありがとうございます。

○議 題

△日程第3 議案第40号 令和3年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について

◎教育長 それでは続いて議題に入らせていただきます。

議案第40号 令和3年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について、総務

課長より説明をお願いします。

◎総務課長 それでは、議案第40号 令和3年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について、お手元の決算書と会議資料2の決算認定資料をもとに、着座にてご説明申し上げますこと、ご了承ください。

まず、歳入についてご説明いたします。決算書の1頁の予算現額と2頁の収入済額の最下段の欄をご覧ください。歳入合計の予算現額237,600,000円に対して、調定額、収入済額とも209,498,463円でございます。一番右の欄の予算現額と収入済額との比較はマイナス28,101,537円となりました。次に、歳出についてご説明いたします。一枚はねていただき、3頁の歳出合計の予算現額と4頁の支出済額の最下段の欄をご覧ください。

予算現額2億37,600,000円に対して、支出済額は2億8,498,463円でございます。一番右の欄の予算現額と支出済額との比較は29,101,537円となりました。

続いて、5頁をご覧ください。収入済額と支出済額を差し引きいたしました残額は、1,000,000円丁度で、翌年度への繰越金とさせていただきます。

《詳細説明については省略》

最後に、この決算書をご報告させていただくにあたり、本日までの、決算の経緯について、ご報告申し上げます。令和3年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算は、令和4年5月31日をもって調整を終わり、幹事町の岐南町において監査委員さんによる決算審査を7月29日に行っていただきました。

結果『予算の執行は議会の議決の趣旨に従い、適正かつ効率的に執行され、その計数も正確であることを確認した。』との意見をいただきました。続いて、令和4年第3回岐南町議会定例会に、決算書を認定第5号議案として9月1日に提出し、9月27日に決算が認定されましたことをご報告申し上げます。以上、令和3年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算についての説明を終わらせていただきます。

◎教育長 はい。では、今説明がございましたが、何かご質問等はよろしかったですか？

◎総務課長 これは、昨年度の報告ですので、今年度の執行率は全体にもっと上がっております。

◎教育長 少しお時間は取りますが、とりあえず議会も通っておりますので、使い道とか様々な点で何かございましたらお願いします。執行率のところも含めて。

◎総務課長 教育委員の皆様はいろいろなことに一緒に関わってくださっていますので、こういう様子とかご理解いただける部分もあると思うのですが、中にはこちら側だけで動いていることもありますので、事業についてのこととかご質問があればそれぞれの課で対応させていただきます。

◎岩井委員 決算ですからね。

◎教育長 報告という形なんですけれども。

◎岩井委員 これについては、町の方ともいろいろあるわけですか？

◎教育長 あります。

◎総務課長 やはり見込みが甘いと言いますか、不用額の多さですね。

◎岩井委員 不用額が多すぎるということですか。

◎総務課長 それできちんと説明を求められるのですが、今回は来年度の予算時期にも入ってまい

りましたので、既に財政課からいくつか指摘されておりまして、令和3年度はこうだったが、見直して、精査をして、不用であるものは切り捨てなさいということもありますし、理由があるのであれば説明がきちんとできるようにということですね。

それだけあれば町の方で何かの事業ができますよね？ということも言われています。

感染症でいろいろなことができなかつたということで、ずいぶんご理解はいただけたのですが、それにしてももう少し、これだけお金を確保したのであればしっかりと事業を進めるようにという指摘もございます。

◎岩井委員 ある意味ではお金を使えということですか？

◎総務課長 そうですね。そういうことも言われます。

◎岩井委員 確保した以上は、きちんと使いなさいということですね。

◎総務課長 はい。このために必要だからと言って予算計上をしていますので。教員の方々の研修会のこともそうですし。去年は3名しか行かれなかつたので。今年は、人数的には十数名行かれることは聞いております。県外の視察もそうですし。部活動の関係はやはり大きいですね。実施しなければ謝礼も発生しませんし、交通費も発生しませんので。

ただ、令和2年度に比べると令和3年度の方が執行率はいいのですが、それにしても不用額が大きいものですから。あと、令和3年度で質問が来たのは立志塾についてです。これだけ計上しなければいけないものなのかということ。令和3年度はあれだけしか使いませんでしたので。今年度は支出も違いますし、事業としてできていることは伝えました。それにしても見直しをするようにというご指摘がありました。

それから補助金ですね。それだけ戻ってくるのであれば、その額を補助金として出さなければならぬのかということもあります。

ただ、難しいです。来年どうなるかということは。実績に合わせて予算をカットすればいいというものでもありませんし。

◎久納委員 令和2年度に比べれば3年度、3年度に比べれば4年度の方が執行率は上がっていきませんか？コロナの状況が落ち着いてきていますので。

◎総務課長 そうですね。

◎教育長 あとは部活指導者ですね。こちらとしては、各部2名を配置するという願いを持って、確保するために予算化をするのですが、人材がなかなか見つからなかつたという現状があつたということですね。実際、教員と一緒に給与の枠は設定してあるけど、人がいないということです。ただ来年は、今年働きかけて何とか60名くらいの予定で動いています。

◎久納委員 例えば県の補助金ですが、資料の3頁で県からもらっている補助金が100万以上多いのですが、それであれば町の負担はいらないのではないかと、そのようなことも言われるのですか？

◎総務課長 そうですね。これにつきましては最終的にどれだけ支出したかによって、その割合で返ってくるものですから、支出も増えているということにはなります。それに、例えば3分の1の補助をもらえるとしても、県に余裕がある時は3分の1いただけますし、いろいろな市町でたくさんお金が使われて、県の予算の上限に達すると、3分の1で返ってこない場合もちろんあります。今年度ももしかすると、地域学校協働活動の方で予定していただけた満額が今の段階では少し難しいということをお県の方から言われてい

ますので。ただ、もう一度満額希望の申請は出しますが。

ですから、他市町との関連もありますので一概には言えませんが、昨年度予算より増えているのは、それだけ前年度に使ったということでもあります。

こういうのも予測が難しいですが、教育委員会として補助金を出す場合にその各団体に対して、指導というか、使い方であるとかの監査的なものをやらなければいけないという指摘も先日受けたところです。チェックはもちろんさせていただいていますが、きちんとした監査体制をとって厳しく行っているわけではありません。毎年学校によって使い方が違うこともありますし、これだけ戻ってくるなら補助しなくてもできるだろうと言われても、たまたま事業ができなかっただけだとお答えするしかないと思っています。

今、いろいろなものが値上がりしていますね。施設とかでもそうだと思うのですが、特に光熱費が上がってきています。教育委員会ではその予算を持っていないのですが、各学校の電気代とか公用車の燃料代とかも補正予算を組まないといけない状況です。

給食の食材もそうですし、ひとつひとつ値上がりしているので来年度の予算を組むにも少し読めないところがあります。財政課から今年度より高い単価で組みなさいという指示もありますが、そうすると全体の総額は膨らんでいきますから、そこが厳しくせざるを得ない要因だと思います。大会に参加させていただく負担金についても、所属しなくていいのであれば見直さなさいと言われるくらいです。それについては、教育委員会としては不用な負担金はないと思います。でもそのくらい細かいところまで厳しく言われそうです。

教育費に対してお金は使いますと言っただけですが、やっぱり施設管理にも必要ですから。また、どうしても子ども達に対して必要なものは削れないですし。

◎岩井委員 そうなんだよね。二町の場合は教育委員会だけの予算じゃないので、トータルで考えないといけないから、そういう目で見られるのでしょうね。

◎総務課長 しかも、余っているということですから。それが4月にしか返還されないというところで。やはり返還の仕方を今後考えていく必要はあるかもしれません。ただ、両町に了解を得なくてはなりませんので。今まで慣例として過ぎていたこともありますのでそこを変えていくのがなかなか難しいのと、最初から切ってしまうと足りなくなった時に二町に請求するのは難しいと思いますので、どうしても多めになってしまいます。人件費は少し見直す予定でおりますが、補助金については、継続の方向です。

◎久納委員 社会教育費の執行率は72%くらいで保健体育費の執行率は56%ですが、保健体育費はスポレク祭が中止だったからという理由がありますけど、社会教育費の方は余りそんな感じなんですね。

◎総務課長 そうです。やはり部活の関係がいちばん大きいです。

◎教育長 でも、これだけは絶対キープしないと。今後のこともあるので。

◎岩井委員 確保できた時に必要ですからね。

◎教育長 そうです。

◎総務課長 そうすると、今年は確保の努力をしたのかと言われます。努力は本当にしているのです。こちらの立場にならないとわからないことはありますから、町の財政担当としては、そこは言わざるを得ないですし、議員さん達からも聞かれますので。議会の時

に質問された時は、一応人件費のこととコロナウイルスの感染症の影響で事業ができなかったという状況について説明はいたしました。ですから、予算立ても難しいですけど、執行しようと思っていたことができなかつたり、オンラインが増えてきていることで行かなくても済んでしまい、旅費が不要になったりしましたので。

- ◎久納委員 今後もオンラインを継続していくのなら、旅費は減らすことができるかもしれませんが、来年からはもしかしたらオンラインではなくなる可能性もあるわけですよね。
- ◎総務課長 そうですね。どうなるかわかりませんので。
- ◎社会教育課長 社会教育では両方の開催が多いですね。現地でもやっているし、オンラインでも流しているという方法です。
- ◎総務課長 なるほど。そうですか。
- ◎岩井委員 光熱費だけでも4割とか上がるわけだから、それだけでも教育費は膨らんでしまうわけですよね。
- ◎総務課長 ですので、学校にもかなり節約をお願いしているそうなのですが。
- ◎教育長 校長会等でもきちんと話はしています。笠松でも補正予算を組むので、少しでも空き教室などの電気は消すとか、そういう意識を大事にしてほしいということは伝えてあります。なかなかお金のことになると難しいですね。
- ◎総務課長 紙もそうですし、お茶もそうですし、何もかもが値上がりしていますから、年度途中でも単価の契約変更とかありますし。それが積み重なると大きいですので、今度はきちんと数も細かく出すよう指示が来ています。
- ◎教育長 まあ、そういった現状の中で、来年度の予算も含めて考えていきます。
- ◎岩井委員 やはり、難しいですね。
- ◎教育長 厳しく言われても要るものは要りますから。
- ◎岩井委員 今、もう来年度のことにも取りかかっていますよね。
- ◎総務課長 はい、今業者から見積もりを取っているところです。やはり印刷代も今年のようにはできないと聞いておりますし、手刷りで作るようにしなければいけないかもしれません。
- ◎岩井委員 笠松町の計画もそうするというような話があります。今まで、立派な表紙をつけた計画が作られていましたけれど。
- ◎総務課長 ですから、職員が努力できるところは税金を使わないようにということですね。
- ◎教育長 職員が残業すると、人件費がかかる可能性もあるよね。
いろいろなことはありますが、その中で頑張っていくしかないですね。他に何かご質問はよろしかったですか。

【特になし】

- ◎総務課長 ありがとうございます。こちらの決算書は午後の会議でも使いますのでよろしくお願ひします。
- ◎教育長 はい。ここで少し休憩をとった方がよろしいですか？大丈夫そうですか？
では、続けさせていただきます。

○協議題

△日程第4

- (1) 令和4年度前期ボランティア表彰について
- (2) キッズウィークの取組状況について
- (3) 第64回羽島郡駅伝競走大会(12/11)について
- (4) 第74回羽島郡PTAセッション2022について
- (5) 第51回羽島郡二町教育委員会表彰式の開催について
- (6) 岐阜県市町村教育委員会研究総会(11/11開催)について
- (7) その他

◎教育長 では、協議題に移ります。まず、(1)から(4)までを、堀内社会教育課長から、説明をお願いします。

◎社会教育課長 では、社会教育関係についてお願いします。まず協議題(1)令和4年度前期ボランティア表彰についてご説明します。資料の4頁をご覧ください。

前期のボランティア表彰者は小学校が332名、中学校が183名、合計で515名でした。各学校で賞状とクリアファイルを渡して表彰を行ったところです。昨年度と比べると表彰者数は減っておりますが、各学校に配っています手帳の配布数は1,500冊を超えております。各学校で継続的にボランティア活動への指導が行われているということです。

最近では地域からのボランティアの依頼も増えつつあります。先日、キッズウィーク中にも健康ウォークや両町の公民館行事で、中学生が地域で活躍しているという姿も見られました。引き続き、自分達ができることを見つけて仲間と共に取り組んでいけるように指導していきたいと考えております。

続きまして協議題(2)キッズウィークの取組状況についてご説明をします。5頁になります。キッズウィーク中に、岐南町ではふれあいまなびすとキッズウィーク版が6講座、笠松町では秋の親子教室が9講座とこどもフェスタという行事が開催され、併せて250人ほどの参加がありました。もの作りとか町めぐり、昔遊び、スポーツ、料理、仕事体験など、こども達は自分が興味を持った活動に取り組みました。今回も地域の方が講師として関わるといった講座が多かったです。

また、例えば、笠松町のサッカーを楽しみませんかというものがありますが、こちらは中学生が部活動も兼ねて小学生達にサッカーを教えたり、一緒に試合をしたりというような講座でした。こちらも多く小学生が参加をしました。というように、地域の方々がいちいち関わっていただいて、キッズウィークの公民館講座を進めることができました。

キッズウィークについて、併せてこの講座とは離れるのですが、先程からいろいろなお話をさせていただいていますように、各町でいろいろな行事が計画されて、子ども同士の関わりとか、親子での関わり、小学生と中学生、小学生と高校生、小学生と地域の方というようにいろいろな関わり方をしながら、活動、体験に取り組めたことが良かったと思います。なお、キッズウィークアンケートですが、児童生徒、保護者2,000人以上の回答を得ましたので、数値は出ていますが、一人ひとりの記述のところをしっかりと読んで分析をし、また報告したいと思っていますので、よろしくをお願いします。

続きまして、協議題(3)第64回羽島郡駅伝競走大会についてご説明します。資料の6頁、7頁になります。郡駅伝は、12月11日日曜日の開催を目指して、郡のスポーツ協会で準備を進めております。今年度は3年前の時と同じように通常開催の予定

です。開催要項を近隣地域や中学校に配布し、現在は出場チームを募集しているところ
です。安全に、そして楽しく、戦えるような大会、また、これを機に少しでもスポーツ
に取り組めるような大会となるよう準備を進めているところです。郡駅伝、12月11
日に予定しております。

報告になりますが、10月16日日曜日には第12回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大
会も行われ、羽島郡チームは28チーム中21位。郡の部で4位でした。岐南町と笠松
町の小学生、中学生、高校生、そして一般の代表選手がチーム一丸となってタスキをつ
なぎ、力いっぱい走り切ることができましたのでご報告をします。練習会等の様子を見
ましても、一般の方が子ども達に声をかけたり、励ましたりする姿も見られ、地域ぐる
みでスポーツに取り組むという地域の教育力も感じましたので報告させていただきます。

社会教育課からの最後ですけれども(4)第74回羽島郡PTAセッション2022
についてご説明いたします。資料の8頁になります。「親も学ぼう、成長しよう」をス
ローガンに羽島郡PTAセッション2022を、昨年度と同じようにオンラインで開
催します。現在は12月2日金曜日からの配信に向けてPTAの方で準備を進めてい
るところです。

今年度は、下羽栗小学校PTAと笠松中学校PTAが提案発表をします。下羽栗小学
校は、運動会において学校とどのように連携したかということと広報誌づくりについ
て発表する予定です。笠松中学校の方は先生方や生徒会との対話についてどう進めて
いるかということを発表する予定です。講演会につきましては、岐阜県警察本部の小
野卓也氏の「ネット犯罪から子どもを守る」というテーマで講演を予定しております。
また、岐南中学校、笠松中学校の吹奏楽部の演奏も録画ですけれども発表を予定してい
ます。羽島郡PTAセッション2022はオンラインで行うということです。

以上が社会教育課からの説明になります。

◎教育長 はい。今4項目について説明させていただきましたが、何かございましたらお願いし
ます。久納委員さん、どうぞ。

◎久納委員 ボランティア表彰のことですけれど、前も学校で数値の開きがあることについて、
内容が違うからだという説明を受けた覚えがあるのですが、同じ学校の中で学年によ
って違いがありますよね。例えば、笠松小学校は4年、5年、6年が0ということな
のですが、これはあまり指導がされていないのですか？

◎社会教育課長 いや、指導はしているのですが、子ども達が当たり前のことだと。例えばゴミを拾
うことを当たり前のこととして捉えるか、ボランティアという気持ちでやったのか、
というそのあたりの違いがありまして、笠松小学校の場合はそんなことは当たり前だ
ということで、ボランティア手帳に書くようなことじゃない、当たり前でできている
よと聞いたことはあります。

◎久納委員 意識が低いとかそういうことではないのですね。

◎社会教育課長 そうということではないです。

◎久納委員 むしろ、当たり前でできているということなんですね。

◎教育長 逆に意識が高いんだね。なるほど。

◎総務課長 でも、こうして数字に出てしまうんですね。

◎社会教育課長 ボランティア手帳は確か48回で1冊となっていたと思いますが、それを全部書く
と1冊終了ということになるんです。この回数は繰り返し行っていないとなかなか
到達しないと思います。

- ◎教育長 今の件はよろしかったですか。
- ◎久納委員 はい。
- ◎教育長 キッズウィークでその他に説明することは？
- ◎社会教育課長 キッズウィーク中にはいろいろな行事があったのですが、まず笠松の方では「かさまつり」といって、岐阜工業高校の学生が授業の一環として、建設工学科の高校生が子ども達に設計のこととかを映像も使いながら関わって取り組んでいました。高校生と一緒に小学生が体験できるということでそれもいいなあと思いました。それから先ほど言いましたサッカーについては、中学生と小学生と一緒にあって取り組んでおりました。
- 岐南町の方では、青少年育成の方が関わって「岐南町ドッジボール大会」というのを行いまして、東小、西小、北小の三校の混合チームで、生き生きとドッジボールに取り組みながら交流を深める姿がありました。そういう地域での行事もありましたので報告させていただきます。
- ◎教育長 ドッジボール大会を見させていただきましたが、新しい発見として女の子の肩がとても強くなっていて、驚きました。我々が子どもの頃は、弱いのでちょっとこっちへ投げるように言ったりした覚えがあるのですが、下手すると男の子よりも速いスピードのボールを投げていました。ボールは柔らかくて掴みやすいのですが、きちんと取って投げていたという姿がまだ残っています。
- ◎岩井委員 岐南町のいろいろな講座は、小・中となっていて、中学生も対象になっていますね。
- ◎社会教育課長 小学生が主体ですが、中学校の子も参加していいということで、兄弟で参加したりしています。
- ◎岩井委員 そんな程度ですか。こういうものにそんなに中学生が出てくるのかなあと思って。
- ◎社会教育課長 多くは小学生ですね。
- ◎岩井委員 わかりました。
- ◎教育長 サッカーは笠松中だけではなくて、岐南中の生徒も一緒になって行っていましたね。
- ◎社会教育課長 サッカー部については、部活動に入る人数が少なくて、笠中と岐南中合同で部活動を進めているというところがありまして、この時のサッカーも岐南中の生徒が混じってやっておりました。
- ◎岩井委員 今、二町でそういう状況なんですか。
- ◎教育長 そうです。今、野球とサッカーは、指示を出していなくても、顧問同士で合同チームを作っています。中体連もそういう形がOKになってきていますので。結局、野球で言うところのトリプルリーグですとか、サッカーですといろいろなクラブチームとかに行かれる方も増えていますから。部活動としての学校体育がなかなか成立しづらいところがあります。今回の地域移行に関わっては、それぞれの指導者が一緒になって進める形でお願いできないかを考えています。そんな実態です。
- では、社会教育課に関わっては、他によろしかったですか？

【特に、意見なし】

- ◎教育長 では、続いて、(5)から(7)までについて、石川課長お願いします。
- ◎総務課長 それでは、(5)令和4年度第51回 羽島郡二町教育委員会表彰式について案を載せさせていただきました。会議資料9頁をご覧ください。前回の会議で承認していただ

きました、3名の教育功労者の方につきまして、11月25日に表彰式を行います。

岐南町社会教育委員 伊藤 美喜子さん、笠松中学校 多和田 仁主幹教諭、小塩澄江教諭には、日程についてお知らせ済みです。記念品も昨年同様に、卓上時計を準備いたしました。代表として、岐南町社会教育委員 伊藤さんに謝辞を述べていただくよう案内する予定をしています。定例会に引き続き、午後3時から学習室で行いますので、こちらの方のご出席も、よろしく願いいたします。来月初めに案内文書を送付する予定をしております。昨年は10名と多かったのですが、今年度は3名です。

教員の方も笠中のみですし、方法等について何かご意見がございましたらお聞かせください。

◎教育長 小塩先生は岐南中にもいらっしゃったし、多和田さんは二町教育委員会にもみえたからね。

◎総務課長 はい。それでは、このような予定をしておりますので、よろしく願いします。

続きまして、11月11日（金）開催の令和4年度 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会についてですが、確認させていただきます。資料の10頁をご覧ください。

先日、郵送させていただいた事務局からの案内文をそのまま資料とさせていただいておりますが、その時は分科会についてまだ決定しておりませんでした。最終的に分科会が決定したものが昨日事務局より届きました為、本日別紙でお渡ししております。皆さん、第1希望の分科会でご参加できることになりました。それから西委員さんですが、ご都合により欠席されるとお伺いしておりますので、ご承知おきください。当日の資料については、後日お渡しをする予定をしています。

経路検索をしましたら、会場までは岐南町役場から27kmで、1時間弱程で到着できそうです。受付開始が9時30分、開会が10時という日程となっておりますので、朝は混雑して渋滞する可能性も考え、余裕を持って到着できるように出発したいと考えています。午前8時40分に集合・出発ということにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか？

◎久納委員 8時40分ですね。

◎総務課長 はい、8時40分にこちらに来ていただきたいです。集合されて揃い次第、出発させていただきます。自家用車は役場前の駐車場にお停めいただけますが、一日停めることとなりますので、役場総務課に申請をする予定です。菊花展が開催中の為、保健相談センター前には停められないと思いますので、また確認してご連絡します。

決定した分科会とグループのメンバーについては、参加者名簿でご確認ください。

◎教育長 はい。よろしく願いします。では、次、最後ですね。

◎総務課長 はい。資料の13頁をご覧ください。

次回（第9回）教育委員会定例会の開催については、先程ご説明いたしました、第51回羽島郡二町教育委員会表彰式と同日で行うため、前回の会議の時に日程を決定させていただいております。午後3時から表彰式に移るというスケジュールですので、定例会議は11月25日（金）13時30分から岐南町中央公民館のいちばん奥の部屋になりますが、集会室2で開催いたします。本日、依頼文もお渡しいたしますので、よろしく願いします。表彰式については、岐南町長にも出席を依頼済みです。

続いて、12月開催予定の第10回会議日程についてですが、次回の会議でお諮りするよりも、本日ご都合を伺った方がいいかと思ひまして、スケジュールを載せました。12月は両町の議会が始まります。まだ、岐南町の議会日程が確定しておりませ

んが、閉会日が絡んではくるのですが、第4週の午後であれば開催できるのではないかと思います。候補日としては、12月20日(火)、21日(水)、23日(金)、26日(月)の4日間ですが、12月27日(火)午後に立志塾研修会が予定していることも申し添えます。連日お越しいただくのは申し訳ないとは思っています。

皆さんのご都合が良ければ、20日(火)、21日(水)、23日(金)の午後で開催させていただけないかとは思っております。年末の慌ただしい時期ですが、皆様のご都合は如何でしょうか？

◎岩井委員 21日は駄目です。

◎総務課長 わかりました。他の委員さんはいかがでしょう？

◎西委員 どちらでも大丈夫です。

◎羽田野委員 午後であれば、大丈夫です。

◎久納委員 20日か23日ですよ？どちらでも大丈夫ですが、23日に予定が入りそうな気がするので、できれば20日をお願いします。

◎総務課長 はい、わかりました。では、会場の方も確認しまして、20日の午後ということで、13時半くらいからにさせていただくと思いますが、その日程を空けておいていただきますよう、お願いいたします。ありがとうございました。

◎教育長 ではお願いします。あと、1月のことは良かったかな？

◎総務課長 はい。11月の定例会でお諮りする予定ですが、教育委員の視察についてです。

学校教育課長の方で調べてくださったのですが、やはり年明けには少ないようですので、その件について少しよろしいですか？

◎学校教育課長 はい。年明けには数が少ないのと、現状では開催予定であります。当然コロナの関係で、近くならないと本当に開催するかはわからないのが現状ですが、ありましたのは四国で2つほど。鳴門教育大学附属小学校と香川大学教育学部附属高松小学校です。やや遠方かと思っております。あと、東京のお茶の水女子大学附属小学校でもあるのですが、ここについてはオンライン開催の予定ということなので、視察という形にはならないと思うと、ひとつだけ見つかったのが、1月31日の火曜日、京都市立川岡東小学校で、午後の開催です。「自分の良さに気付き、豊かに人と関わる子を目指して」ということで、授業内容としては国語と道徳です。1時半から全体会がスタートして、公開授業、分科会、講演会が佐賀大学の教育学部の先生が講演をされるということですので。終わりが遅くて17時の終了予定です。ここが第一候補ですが、ここについても案内について止まっている状況で、令和4年の9月の案内の時に、この後2次案内を出しますということになっています。多分様子を見ながら年内には出ると思うのですが、今はそういう状況です。

◎岩井委員 ということは、1月31日は空けておいた方がいいということですね。

◎学校教育課長 そうですね。今のところはここが第1候補です。

◎教育長 まあ、研究内容が合っているかどうかは別として、視察の可能性のある日が1月31日ということです。

◎岩井委員 予算もありますし、今年行ったほうがいいですよ。

◎教育長 はい。できれば。

◎久納委員 四国に行ければいちばんいいですけど。

◎岩井委員 鳴門なんかは中途半端に遠いですからね。

◎総務課長 そうなんですよ。電車で行くと大回りです。

◎岩井委員 なんで行っても、時間がかかるからね。

◎教育長 そうです。ちょっと遠いですよね。視察については、現段階では京都へ日帰りという
ことで進めさせていただこうと思います。では、他にはよろしいですか？

【特に質問なし】

◎教育長 2時間近くなりました。これを持ちまして、令和4年第8回定例会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

【午前11時39分 閉会】